

## 科学展(西部地区展)に5研究を出品

9月30日(土)～10月1日(日) 東洋大学川越キャンパスにて科学教育振興展覧会(科学展) 西部地区展が行われ、生物部・化学部・地学部が参加しました。各部の研究タイトルは以下のとおりです。

生物部「日本産ドブガイ族の種分化とその種の同定法」 **中央展(県展)へ**

化学部「都市鉱山の金属の分離回収」

「水酸化コバルト水溶液の組成比率の特定」 **中央展(県展)へ**

「硝酸および硫酸による光触媒への影響」

地学部「低い方向の青空ほど白く見える謎」



パネルの前に担当生徒が立ち、審査委員に対して研究内容の説明や質疑応答を行いました。地区展には、本校5作品を含め32作品が出展され、そのうち9作品が優秀賞として中央展(県展)に進みました。本校は、化学部2作品と地学部1作品が優良賞、生物部1作品と化学部1作品が優秀賞に選出され中央展(県展)へと進みます。

### 日本科学未来館研修

9月11日(月)に理数科1年生が日本科学未来館へ研修に行きました。未来館では展示の自由見学の他に、指定された科学技術について調べて未来の自分達とその科学技術との関わりを考え発表するワークショップ、エネルギー問題について6つの異なるキャラクターの立場になり切って考え議論するワークショップを実施しました。

帰りのバスの中でも、その情報をもとに2030年の未来像を科学の持つ光と影の両面から想像し、発表し合いました。文化祭の振休でしたが、生徒は真剣に取り組み、充実した研修になりました。



### SS 家庭 住宅展示場見学

9月19日(火)に理数科2年生がSS家庭Ⅱの授業で、総合住宅展示場 TBSハウジング東松山会場の積水ハウスと一条工務店に行きました。70坪以上もある広々とした家の中で、各ハウスメーカーのこだわりを見ることが出来ました。

積水ハウスでは耐震性の高さや生活動線を考えた間取りを、一条工務店では太陽光発電や全館床暖房について丁寧に講義していただきました。

最後に外で梁の継ぎ手をつなぐデモンストレーションを体験し、耐震性についての木造建築(構造)の工夫も体験することができました。

